

# 日本カメラ博物館講演会

## 戦地に殉じた報道写真家 沢田教一と一ノ瀬泰造を語る

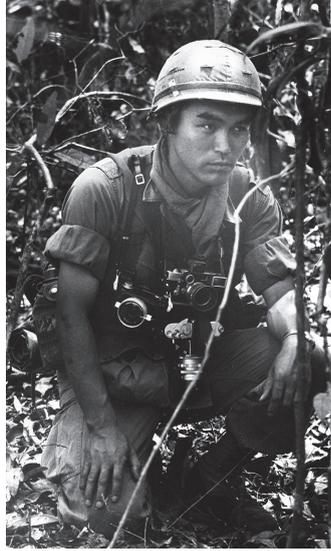
講師：宮嶋 茂樹 (報道写真家)、永瀨 教子 (一ノ瀬泰造著作権管理者)

2025年11月15日(土) 13:00 ~ 15:00

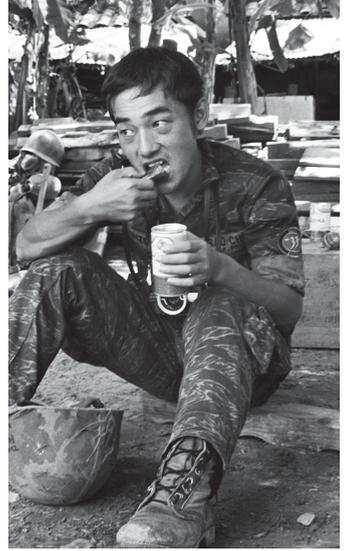
日本カメラ博物館で開催の特別展「沢田教一と一ノ瀬泰造」展に合わせ、11月15日(土)に、報道写真家の宮嶋茂樹氏と、一ノ瀬泰造の姪で著作権管理者の永瀨教子氏をお迎えして、講演会を開催します。

展示では、これまで発表される機会が少なかった戦地へと赴く以前に撮影された写真を中心に、カメラやヘルメットなどの貴重な資料を多数ご覧いただけます。隣接するJCIIフォトサロンでは、10月に沢田教一、11月に一ノ瀬泰造の写真展を開催し、ベトナムやカンボジアなど、戦地で撮影した代表作を含む写真の数々を通して、彼らのまなざしを深く探ります。

講演会では、これらの資料をプロジェクターで投影しながら、現役報道写真家の目線からみた沢田と一ノ瀬についてや、親族だからこそ知っているエピソードなど、たっぷりとお話しいただく予定です。ぜひ、ご参加ください。



沢田教一



一ノ瀬泰造  
©一ノ瀬泰造アーカイブ

### 宮嶋 茂樹 (みやじま しげき)

1961年、兵庫県生まれ。1984年、日本大学藝術学部写真学科を卒業後、『フライデー』専属カメラマンを経て、1987年にフリーランスとなる。1996年に東京拘置所収監中の麻原彰晃を撮影するなどのスクープにより、第3回編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム大賞を受賞。日本国内はもとよりイラク、北朝鮮、アフガニスタン、ウクライナなど世界各地で精力的に取材を敢行し、雑誌媒体で活躍中。

### 永瀨 教子 (ながふち きょうこ)

1976年、神奈川県横浜市生まれ。米国セントラルオクラホマ大学ジャーナリズム学部卒業後、株式会社アマナ入社。国際部、著作権管理部勤務。ライツマネジメント担当として国内外の写真作品や肖像等の使用契約交渉業務に従事。退職後の現在は、祖母から受け継いだ一ノ瀬泰造のフィルムへのデジタルアーカイブ化を進め、作品管理や写真展企画等を行なっている。

日時

2025年11月15日 (土)  
13:00~15:00 (12:30分頃開場)

会場

JCIIビル6階 (日本カメラ博物館隣のビル)

定員

100名 (要予約、座席指定なし)

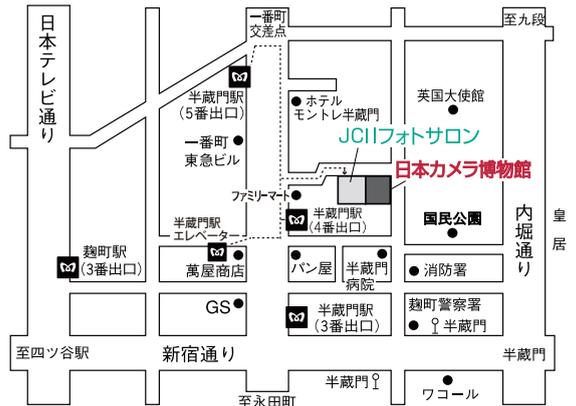
参加費

500円 (博物館入館料込み)

(日本カメラ博物館友の会会員、  
フォトサロン友の会会員、学生は無料)

申込先: 日本カメラ博物館 (Tel.03-3263-7110)

協力: 永瀨教子(一ノ瀬泰造アーカイブ)、公益社団法人 日本写真協会



- 東京メトロ半蔵門線半蔵門駅4番出口から徒歩1分
- ※エレベーターは5番出口と、4番出口そば、エスカレーターは5番出口
- 都バス(都03: 四谷駅⇄晴海埠頭)半蔵門下車 徒歩4分
- 東京メトロ有楽町線麹町駅3番出口より徒歩8分
- ※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

### 日本カメラ博物館 特別展「沢田教一と一ノ瀬泰造」

2025年9月30日(火) ~ 2026年2月1日(日)

10 ~ 17時 入館料: 一般300円 / 中学生以下無料

休館日: 毎週月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、年末年始(12/27 ~ 1/4)

千代田区一番町25番地 JCII一番町ビル(03-3263-7110)

### JCII フォトサロン 10~17時 入場無料 祝日以外の月曜休館

—報道写真家 沢田教一のまなざし—  
「戦渦を生きる人々」

2025年9/30(火) ~ 10/26(日)

—戦場を駆けた写真家 一ノ瀬泰造—  
「もうみんな家に帰ろー!」

2025年10/28(火) ~ 11/30(日)

千代田区一番町25番地 JCIIビル1階(03-3261-0300)